

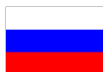
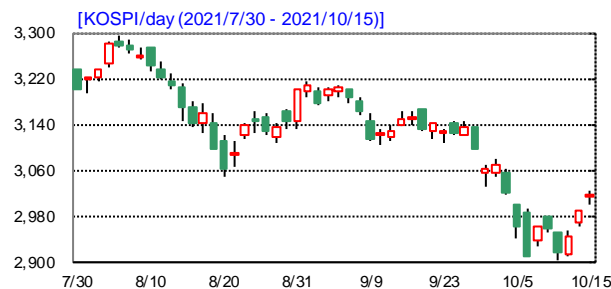


## 【韓国】 総合指数は週間で2.0%高と4週ぶりに反発、節目の3000ポイント回復

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.0%高と4週ぶりに反発。11日がハングルの日の振替休日で休場のため、4日間の取引。連休明け12日は前日の米株安が嫌気され、前営業日比1.4%安。時価総額の大きいサムスン電子と半導体のSKハイニックスがともに年初来安値を更新し、指数を押し下げた。一方、13-15日は買い戻しが優勢。韓国の雇用統計と貿易統計がそろって堅調だったことが好感されたほか、米ハイテク株高や米ドルに対するウォン安の一服、国内の新型コロナウイルス対策の一部緩和が地合いの改善につながり、機関投資家の買いが目立った。15日終値は節目の3000ポイントを回復し、約2週間ぶりの高値で引けている。今週も米ハイテク株の動きをにらんだ展開か。国内では21日に9月の生産者物価指数（PPI）が発表される。

▼指数チャート

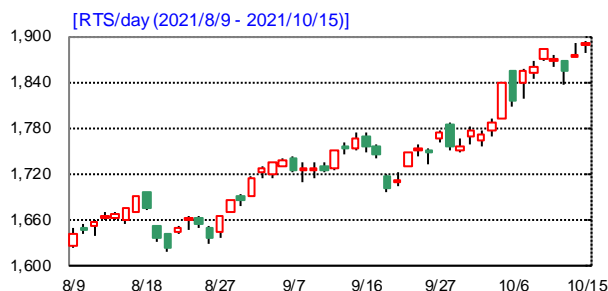


## 【ロシア】 RTS 指数は1.6%高と5週続伸、今週も原油相場や海外株が焦点か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で1.6%高と5週続伸。原油高、ルーブル高、海外株高が重なり、追い風となった。前週に5.0%上昇した指数は週明け11日に前週末比1.2%高と3日続伸。ズベルバンク・オブ・ロシアが約4%上昇して高値更新を続けたほか、エネルギー株の上昇も指数を押し上げた。12-13日は続落したが、原油価格の再上昇やルーブル高、海外株高を受けて14-15日は続伸。15日は終値で2011年8月以来の水準を回復した。ルーブルは対米ドルで1.3%上昇し、ブレント原油は3.0%高と6週続伸した。個別では、資源のルサルが12.2%高と急伸し、リテール金融のTCSグループが9.3%高、産金のポリュスが7.9%高となった一方、鉄鋼のノボリペツク製鉄所が4.7%下落した。今週も原油相場や海外株が焦点か。

▼指数チャート



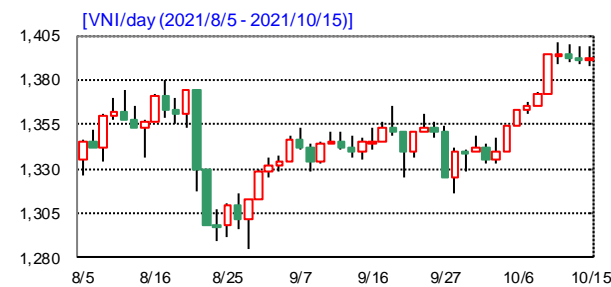
## 【ベトナム】 ベトナム指数は1.5%高と続伸、今週も先高観を背景に堅調な値動き

か

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.5%高と続伸。金融などの主力銘柄が買われ、指数は一時、約3カ月ぶりに1400ポイントを上回った。週明け11日は前週末比1.6%高と前週の4日から6営業日続伸。不動産、金融、鉄鋼などの主力株が買われた。その後は利益確定売りが上値を圧迫したものの、週末まで高値圏でもみ合った。VN 指数は12-13日に7月6日以来となる1400ポイントを上回り、15日は1392.70ポイントで引けた。個別では金融のベトインバンクが4.1%高、テコムバンクが3.7%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが2.9%高、家電小売のモバイル・ワールドが2.8%高だった一方、食品加工のマサン・グループが3.1%安、不動産のノー・バー・ランド・インベストメントが2.4%安となった。今週も先高観を背景に堅調か。

▼指数チャート

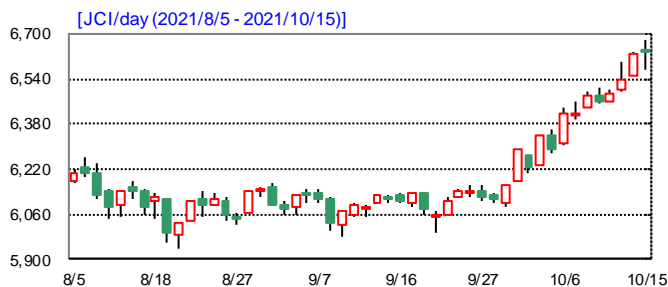


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.3%高、週末に終値で 18 年 2 月以来の高値を更新**

ジャカルタ総合指数は週間で 2.3%高と 5 週続伸。好地合いの中、堅調な値動きが続いた。週初の 11 日は反落したが、12 日に買い戻されると、13 日は金融株が指数上昇をけん引。14 日は原油先物価格が上昇した効果でエネルギー株が買われ、指数は前日比 1.4%上昇した。15 日は 9 月の貿易黒字額が市場予想から上振れしたほか、前日の NY ダウが米主要企業の好決算を受けて 5 営業日ぶりに反発したことも買い材料となり、終値で 18 年 2 月以来の高値を更新し、4 日続伸して取引を終えている。今週は 19 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。20 日はムハンマド生誕記念日のため休場となる。

### ▼指数チャート

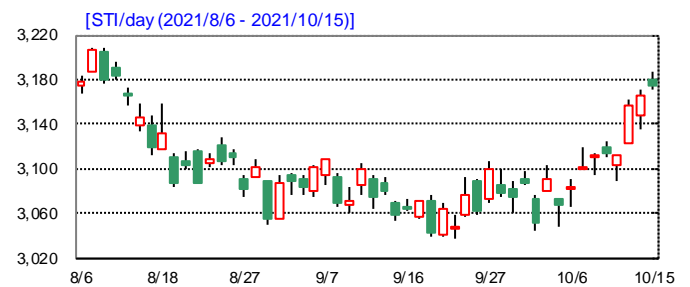


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 2.0%高、当局が金融引き締め方向への転換を決定**

ストレーツタイムズ指数は週間で 2.0%高と続伸。景気回復に対する期待が指数を押し上げた。週前半に狭いレンジでの値動きが続いた後、13 日は 7-9 月期の GDP 速報値発表を翌日に控えた期待感から銀行大手 3 行を含む幅広い銘柄が買われ、指数は前日比 1.4%高と反発。14 日は GDP 成長率が前年同期比 6.5%と、ほぼ市場の予想通りだったことを受けて続伸した。金融通貨庁は同日、経済の正常化に向け、金融政策を引き締め方向に転換する方針を示している。指数は 15 日も上昇し、終値で約 2 カ月ぶりの高値を更新して取引を終えた。今週は 18 日発表の 9 月の非石油地場輸出に対する市場の反応が焦点。

### ▼指数チャート

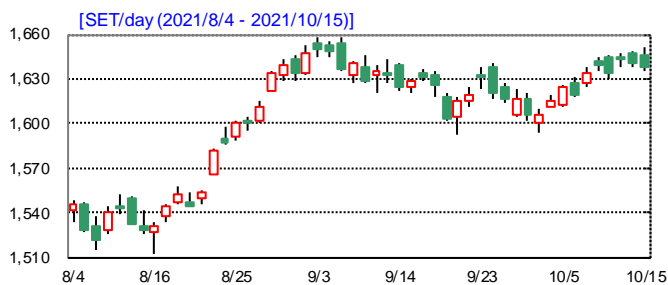


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.1%安、今週は 9 月の貿易統計に期待**

SET 指数は 4 日間の取引で 0.1%安と小幅反落。週末の下落が響いた。週初の 11 日は、9 月の米雇用統計で非農業部門雇用者数が市場予想から下振れし、前週末の NY ダウが下落した流れで、3 営業日ぶりに反落。12 日は前日にプラユット首相が米中を含む新型コロナの感染リスクが低い国からの入国者の隔離免除を 11 月に開始する方針を示した効果で買い戻された。ただ、祝日を挟んだ 14 日に反落すると、15 日はエネルギー株に利益確定売りが出た影響で続落して引けている。今週は 22 日に 9 月の貿易統計（通関ベース）が発表される予定。同日はチュロンコーン大王記念日の振替休日のため休場となる。

### ▼指数チャート

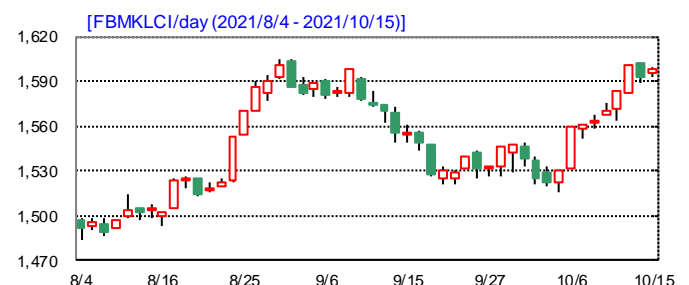


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 2.2%高、13 日に終値で 1600 ポイント台に到達**

クアラルンプール総合指数は週間で 2.2%高と続伸。週半ばに終値で 1600 ポイント台に到達した。週初の 11 日は、原油価格の上昇を受けてエネルギー株が指数上昇をけん引し、5 営業日続伸。好地合いが続く中、13 日は経済再開に対する期待感から買われ、前日比 1.0%高と終値で約 1 カ月半ぶりに 1600 ポイント台に乗せた。14 日は利益確定売りに加え、8 月の鉱工業生産が前年同月比 0.7%減と市場予想から下振れし、2 カ月連続で前年の水準を下回った影響で 8 営業日ぶりに反落したが、15 日には買い戻されて引けている。今週は 22 日に 9 月の CPI が発表される予定。19 日はムハンマド生誕祭のため休場となる。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。